

第1回講習会
9月12日

失語症者支援考える

甲府 12回の講座スタート



失語症者の社会参加を支えるために始まった意思疎通支援者養成講習会
＝甲府・県福祉プラザ

言葉に関わる機能が低下する失語症の人の意思疎通を支援する人材の養成講座が12日、甲府・県福祉プラザで始まった。具体的な支援場面を想定した実習も行い、失語症者の社会参加を支える知識や会話技術の習得を目指す。

講座は県の委託を受けた県言語聴覚士会(内山暁中会長)が実施する。失語症者は「読む」「書く」「聞く」「話す」などが困難になり「コミュニケーション」に支障が生じるため、生活のしづらさや孤独感を抱えているが、これまで県内では失語症に特化した支援がなかった。

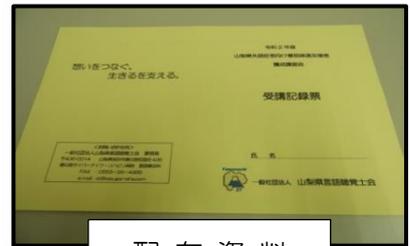
16人が受講。12日の開講式では、内山会長が「地域で暮らす失語症の人の人生が幸せになるように支援をしてほしい」と話した。

写真：2020年9月18日山梨日日新聞より

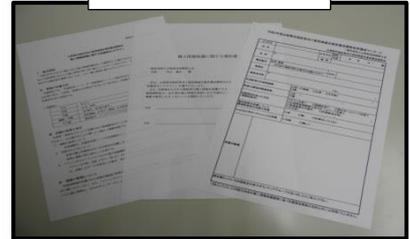
日程・カリキュラム

	日時	会場	講習内容
1	9月12日(土) 13:00~16:40	福祉プラザ 大会議室	開講式/オリエンテーション
			失語症概論
			意思疎通支援者とは何か
			意思疎通支援者の心構えと倫理
2	9月26日(土) 13:30~16:30	青少年センター 第1会議室	派遣事業と意思疎通支援者の業務
			失語症のある人の日常生活とニーズ
			情報交換
3	10月11日(日) 10:00~15:00	山梨市民会館	コミュニケーション支援技法Ⅰ
			コミュニケーション支援実習Ⅰ-①
4	10月24日(土) 10:30~14:30	なかとみ 和紙の里	外出同行支援
			外出同行支援 実習①
5	11月1日(日) 10:00~15:30	ぴゅあ総合 大ホール	コミュニケーション支援技法Ⅰ
			コミュニケーション支援実習Ⅰ-②
6	11月21日(土) 13:00~15:00		外出同行支援 実習②
7	12月13日(日) 13:30~16:30	山梨市民会館	コミュニケーション支援実習Ⅰ-③
8	1月16日(土) 13:30~16:30	ぴゅあ総合	コミュニケーション支援実習Ⅰ-④
9	1月31日(日) 13:30~16:30	ぴゅあ総合	コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑤
10	2月7日(日) 13:30~17:40		身体介助の方法
			身体介助実習
11	2月28日(日) 13:30~16:30		コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑥
12	3月13日(土) 13:00~17:00	イオン	外出同行支援 実習③ 買い物
		防災会館	閉講式/修了証授与

《8月29日事前説明会の様子》



配布資料



《開講式と第1回講習会（9月12日）》

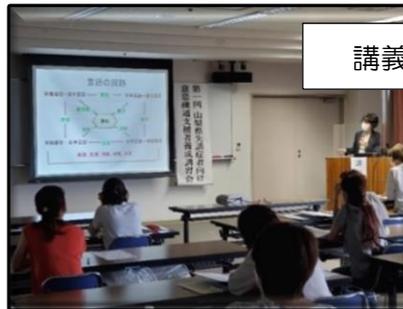
開講式：山梨県会議員挨拶



参列者と受講生の紹介



講義の様子



《第2回講習会（9月26日）》

県障害福祉課講義



グループワーク・情報交換会



講義用アクリル板消毒



令和3年3月13日修了予定の「失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」では、このコロナ禍の中、順調に講習会は進み、支援者16名は予定どおり12時間の講義と28時間の失語症当事者とのコミュニケーション支援や外出同行支援実習に取り組んでいます。支援者には失語症当事者と会話するのが初めてという人もおり、毎回コミュニケーション対応に苦心しながらも誰もが“当事者の力になりたいから不安だけど頑張る”と意気込みを語ってくれました。



外出同行支援実習 自己チェックシート

到達目標	項目	振り返り時のポイント	よくできた	悪くできなかった	どちらでもない	あまりできなかった	できなかった
I 移動 1)安全面の配慮をする 2)危険時の予測ができる	1 歩行状態に応じた支援をしたか	つまずきやふらつき、転倒のリスク管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 身体障害についての配慮をしたか	使用する手、扉の状態、患側の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 浴びず操作がスムーズに行えたか	ブレーキやフットレスト、段差時の対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 エレベーターやエスカレーター乗降時の配慮ができたか	事前に降りる階を伝える、混雑時のサポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
II コミュニケーション 1)さまざまなコミュニケーション技法を用いて本人の意向を確認する 2)自己決定できるような働きかけをする	5 体調や気分について配慮したか	顔色や表情、緊張していないなどの観察	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 支援方法への希望を聞いたか	文字や絵、身振りの活用と意思の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7 支援の内容をわかりやすく伝えたか	文字や絵、身振りの活用と伝わったかの確認	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
III 情報・環境調整・リスク管理 1) 外出先、外出場所についての情報収集ができる 2) 緊急連絡先の調整を行う 3) 緊急時に対する心構えができる	8 本人が自己決定できるような声かけをしたか	はい/いいえの質問 選択肢を示す	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9 バリアフリー対応について留意したか	トイレ、エレベーター、スロープ等を事前に確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10 外出先のプライバシーに配慮したか	個人情報の保護に努め、話さない内容については触れない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 緊急連絡先を確認したか	事前に確認(保険証、障害者手帳、家族の連絡先電話番号SOSカード、ヘルプマークなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<自身の関わりのなかで良かった点・悪かった点>
 今回の実習で良かった点
 ・支援者の発想言葉と待つ心が出来た

コミュニケーション支援技法スタッフチェックシート



「コミュニケーション支援技法Ⅰ-①」スタッフチェックシート 10月11日(日)					
評価項目	十分	概ね十分	どちらもない	やや十分	不十分
1 子供扱いしないで会話ができる	4点	3点	2点	1点	0点
2 落ち着いた雰囲気でも会話ができる	4点	3点	2点	1点	0点
3 お互いの表情がわかる位置や視線で話すことができる	4点	3点	2点	1点	0点
・話題によっては思わず友人に対してのようにしゃべり出した時があり、少し取っ手子が欠けていた。 ・雰囲気作りは上手で、相手に緊張させないように声をけしようと努めていた。 ・相手の言葉を聞きとるうと顔の位置を変えながら対応する工夫もしていたが、意識してできたかという点では不明。					
評価項目	十分	概ね十分	どちらもない	やや十分	不十分
1 子供扱いしないで会話ができる	4点	3点	2点	1点	0点
2 落ち着いた雰囲気でも会話ができる	4点	3点	2点	1点	0点
3 お互いの表情がわかる位置や視線で話すことができる	4点	3点	2点	1点	0点
・相手の言葉を聞きとれない時には不安そうになってしまう表情があった。 ・慣れてくると柔らかい表情とことばで対応でき、会話が楽しく続いた。 ・外国の地名など当事者が思い出さそうとする度に一緒に考えこんでしまい、もう一人ほど援助できなかった。					

外出同行支援実習Ⅰ なかとも
和紙の里の団扇作り支援の様子



外出同行支援Ⅱ（年賀状作り支援）を終えて ※支援者の意見交換より、抜粋（支援者名は仮称）

鈴木さん	短い言葉で会話をするのを心がけたい。当事者に文字を書いてもらうようにアドバイスするタイミングが難しかった。
佐藤さん	学ぶことがたくさんあった。自分も見習いたい。コミュニケーションでの観察することをしていきたい。
高橋さん	当事者を前に緊張してしまう。始めの声かけにつまりやすい。待つことを前回学んだので待つことを意識して実践できたのでよかった。相手に言葉を提供するツールがまだ不十分なのが反省点。
田中さん	せっかちになってしまう。気を付けて、相手の表情を観察しながら、アドバイスできた。
伊藤さん	年賀状づくりという課題があったのでよかった。人見知りなところがあり、自分の声かけで相手がどんな反応か、表情を見てしっかりわかっているか意識できた。当事者の気持ちを読み取るのは経験が必要だが、表情をみて気持ちを汲み取ることを意識したい。
渡辺さん	1対1の初めての支援。これからの支援を考えさせられた。自分が仕事柄、「軽い」（体の障害や言葉の障害）とまず思ってしまったことが相手に伝わってしまったのか、当事者に感じさせてしまった。反省した。関係づくりについて勉強になった。
山本さん	当事者がすごく前向きだった。左手でノートにいっぱい練習していた。最初の声かけが苦手で他支援者に助けてもらった。支援について「のり押さえますよか」と聞くと「いい」と言われ一歩引いてしまった。よかったのか。どうすればよかったのか。
中村さん	会社の上司に手伝ってもらいロールプレイの練習してきた。当事者は話をするのか好きではないと言われてしまい困ったが、字を書く練習を頑張っていることを教えてくれた。不安などが表情に出やすいのが課題。マスクでよかった。表情に出ないようにしたい。
加藤さん	どんな年賀状にするのか、見守った。自分で絵を描くことを選ばれた。「あけまして（改行）おめでとう（改行）ございます」と書くところ「あけまして（改行）ございます」と書かれてしまった。隙間があったので後から付け足すことができたが、一緒に文を読みながら確認できるとよかった。
吉田さん	コミュニケーション力のある方（すらすらしゃべってくれたので）、でも文字を写して書くことは話しことばとは違かった。色選びなど、対人援助をするのであって支配であってはいけない。支援と支配の境目がわかった。
山田さん	難しかった点、当事者者の最適な支援の方法は？やりすぎと足りないの差が難しい。目指すは自己決定ができるように支援すること。
山口さん	毎回不安。絵や文字、当事者がどのくらい力を持っているのか？どこまで一人でききるのか、何が必要なのかを見極めて支援することが大事。支援者も当事者も十人十色。色々な支援者がいてよかった。

支援者の表情が浮かぶような意見交換の内容でしょう。失語症患者さんといつも接しているSTには慣れている会話援助場面ですが、一般の方々にとってどのくらい大変なことか、実習では毎回認識しながらも、私たちの仕事ってすごい！！と改めてSTの専門性を感じている運営委員たちです。